

高度外国人材の育成・還流事業 「イノベーティブ・アジア (Innovative Asia)」での 留学生受入について

2019年6月
独立行政法人国際協力機構(JICA)
国内事業部大学連携課

1.イノベーティブ・アジア事業 概要 ①

(1)目標:高度外国人材の育成・還流

アジア途上国のトップレベル大学(「パートナー校」として指定)出身の理系の学生を対象に、日本の大学院への留学や日本企業等でのインターンシップの機会を提供する事業。本事業を通じて育成された優秀な人材が日本企業で活躍したり、母国に戻って自国産業の発展貢献することで、日本とアジアの双方におけるイノベーション環境の改善を促すことを目標とする。(ODAの技術協力事業)

※「日本再興戦略2016」(平成28年6月2日閣議決定)において本事業の新規実施を決定。「未来投資戦略2017」にも記載あり。

(2)規模:2017年度から5年間で約1,000人の受入(長期(留学)・短期)を目標とする。

※2019年度より、国費外国人留学生制度を活用して受入を行う。

(3)受入期間

日本の大学院での英語による修士・博士課程 ※2018年度は修士のみ

+

日本での企業見学・インターン(在学中・学位課程修了後)

(4)受入分野:理系分野全般

特に、日本とアジアの開発途上国双方におけるイノベーション環境の改善への貢献が期待される「情報技術、IOT、人工知能等の科学技術分野及び工学分野」またこれに関連する分野

1. イノベーティブ・アジア事業 概要 ②

【対象国】ASEAN8カ国（インドネシア、カンボジア、タイ、フィリピン、ベトナム、マレーシア、ミャンマー、ラオス）、南アジア4カ国（インド、スリランカ、パキスタン、バングラデシュ）

【パートナー校】別紙参照

【受入大学】 21大学

大阪大学、九州大学、九州工業大学、京都大学、神戸大学、芝浦工業大学、筑波大学、東海大学、東京海洋大学、東京工業大学、東京大学、東北大学、豊橋技科学大学、長崎大学、名古屋大学、広島大学、北海道大学、山口大学、横浜国立大学、立命館大学、早稲田大学

【主な専攻分野】工学、理工学、情報学、生物学、農学など

【在籍状況】 213名が在籍（2019年5月31日現在）

第1バッチ（修士・博士）：145名

第2バッチ（修士のみ）：68名

2. インターンシップの実施概要

イノベーティブ・アジアのインターンシップについて

- ・在学中または修了後に最低1回のインターンシップを実施することが本事業参加者の修了要件の一つ。
*本事業修了者が日本での就職を希望する場合、(1)在留資格取得上の優遇措置(高度人材ポイント制の特別加算)および(2)提出書類の簡素化の対象となります。
- ・期間:1週間から最長6か月間(実施時期は夏季休暇が主となるが、通年実施可能)
- ・実施言語:原則、英語
- ・主な実施内容:
 - ①コミュニケーション能力やプロジェクトマネジメント能力など産学において活躍する人材として身につけるべきスキルについて現場での能力強化をおこなう。
 - ②日本の産業界と人的ネットワークを構築する。
 - ③日本の企業文化や商習慣、事業戦略、事業の運営方法を理解し、日本での就職を含めた自身のキャリアについて具体的にイメージできるようにする。

インターンシップの経費(旅費)および手配:JICAで手配および経費負担可能です。※留学生本人分のみ

インターンシップ期間中の保険:JICA／大学にて加入します。

・イノベーティブ・アジア留学生のインターンシップ受入に関心のある企業様は、ぜひご連絡ください。

3. 参考資料①

<パートナー校一覧(60校)>

対象国(パートナー大学数)	パートナー大学
インド(9)	インド工科大学(カラグプール校, カンプール校, グワハティ校, デリー校, ハイデラバード校, マドラス校, ムンバイ校, ルールキー校), インド情報技術大学ジャバルプル校
インドネシア(7)	インドネシア, ガジャマダ, スラバヤ工科, ダルマップルサダ, ハサヌディン, バンドン工科, ボゴール農業
カンボジア(2)	王立プノンペン, カンボジア工科
スリランカ(2)	コロンボ, ペラデニヤ
タイ(12)	アジア工科, カセサート, コンケン, 泰日工業, タマサート(シリントーン国際工科院), チュラロンコン, チェンマイ, ブラパー, プリンスオブソンクラー, マヒドン, モンクット王工科大学(トンブリ校, ラカバン校)
パキスタン(2)	ラホール工科, NED工科大学カラチ校
バングラデシュ(2)	バングラデシュ工科, ダッカ

3. 参考資料 ②

<パートナー校一覧(60校) >

対象国(パートナー大学数)	パートナー大学
フィリピン(4)	アテネオ・デ・マニラ, デラサール, フィリピン大学ディリマン校, ミンダナオ国立大学イリガン工科校
ベトナム(5)	日越, ハノイ工科, ハノイ工業, ホーチミン工業, ホーチミン市工科
マレーシア(11)	マレーシア科学, マラヤ, マレーシア・プトラ, マレーシア工科, マレーシア・トゥン・フセイン・オン, マレーシア・サバ, マレーシア・マラ工科, マレーシア国民, ペトロナス工科, マネジメント・サイエンス, 国立科学技術
ミャンマー(3)	マンダレー工科, ヤンゴン, ヤンゴン工科
ラオス(1)	ラオス国立

4. 参考資料

受入大学／研究科一覧 213名（2019年5月31日現在）

大学名	研究科	大学名	研究科	大学名	研究科
大阪大学	基礎工学研究科	東海大学	工学研究科	立命館大学	生命科学研究科
大阪大学	工学研究科	東海大学	総合理工学研究科	立命館大学	情報理工学研究科
大阪大学	情報科学研究科	東京大学	工学系研究科	立命館大学	理工学研究科
大阪大学	薬学研究科	東京大学	情報理工学系研究科	早稲田大学	基幹理工学研究科
九州大学	システム情報科学府	東京大学	新領域創成科学研究科	早稲田大学	創造理工学研究科
九州大学	芸術工学府	東京大学	農学生命科学研究科	九州工業大学	情報工学研究科
九州大学	工学府	東京工業大学	工学院	神戸大学	工学研究科
九州大学	総合理工学府	東京工業大学	環境・社会理工学院	神戸大学	国際協力研究科
九州大学	システム生命科学府	東京工業大学	物質理工学院	神戸大学	人間発達環境学研究科
九州大学	生物資源環境科学府	東北大学	情報科学研究科	東京海洋大学	海洋科学技術研究科
九州大学	地球社会統合科学府	東北大学	医学系研究科	長崎大学	工学研究科
九州大学	理学府	東北大学	理学研究科	山口大学	創成科学研究科
京都大学	工学研究科	豊橋技術科学大学	工学研究科	横浜国立大学	都市イノベーション学府
京都大学	エネルギー科学研究科	名古屋大学	生命農学研究科	横浜国立大学	理工学府
京都大学	農学研究科	広島大学	国際協力研究科		
京都大学	情報学研究科	北海道大学	工学院		
京都大学	地球環境学舎	北海道大学	環境科学院		
芝浦工業大学	理工学研究科	北海道大学	生命科学院		
筑波大学	図書館情報メディア研究科	北海道大学	農学院		
筑波大学	生命環境科学研究科	北海道大学	獣医学院		
筑波大学	数理物質科学研究科	北海道大学	理学院		
筑波大学	グローバル教育院				

5. 参考資料

・2019年度以降 国費外国人留学生(特別プログラム)

学位課程の新規受入は国費外国人留学生制度による対応。

2019年4月神戸大学に1名入学。

同年9月～10月に50名程度を本邦各大学にて受入予定。

【 2019年度イノベーティブ・アジア対象プログラム】

実施大学	プログラム名称
大阪大学	バイオテクノロジー産学共創グローバル人材育成特別プログラム
大阪大学	長寿命社会を支えるデータ科学と生体機械工学の融合博士人材育成特別プログラム
大阪大学	量子デザイン・実証実験による創発物質科学プログラム
総合研究大学院大学	人工知能とデータサイエンスを先導する次世代研究者育成のための学際的プログラム
東京農工大学	ASEANにおける高度農学研究の社会実装を実現するイノベティブリーダーの育成
名古屋工業大学	グローバル高度技術者育成プログラム
岡山大学	ASEAN諸国での持続可能な開発目標（SDGs）に基づく「食と環境」問題を解決する指導者育成プログラム
京都工芸繊維大学	スマートマテリアル産業創出のための人材育成プログラム
豊橋技術科学大学	地域とアジアを結ぶ日本型産業イノベーション人材育成プログラム
金沢大学	超スマート社会に寄与する電子情報科学分野の高度IT研究開発人材養成プログラム
金沢大学	次世代の計算科学・データサイエンスを担う数物科学のグローバル人材育成
北九州市立大学	アジアの環境問題を組織で解決するための共修型教育プログラム
九州大学	「日本を知るためのプログラム」と連携した工学系高度人材育成プログラム（イノベティブ・アジア）
神戸大学	SDGs技術基盤の構築に資する国際データサイエンス人材育成プログラム
神戸大学	アジアのメディカルイノベーションを担う次世代リーダー育成プログラム
横浜国立大学	ICT技術×土木工学のイノベーションを牽引できる高度国際人材育成プログラム

お問い合わせ先

独立行政法人国際協力機構

国内事業部 大学連携課

担当:佐々木、都竹、紫藤

〒100-8144 東京都千代田区大手町1-4-1竹橋合同ビル

TEL:03-5226-8734

メールアドレス: tatuc_internship@jica.go.jp